

**【資料5】 認定がん医療ネットワークナビゲーター 教育研修セミナー：A
セッション 群馬開催プログラム**

公益財団法人 日本対がん協会
厚生労働科学研究（がん政策研究事業）推進事業

がん医療従事者研修説明会

平成26年 9月13日(土) 午後2時 - 午後4時

群馬大学医学部 刀城会館

後援 一般社団法人日本癌治療学会 公益社団法人日本医師会

公益社団法人日本看護協会 公益社団法人日本薬剤師会

「がん医療ネットワークナビゲーター：育成制度と資格認定」
プログラム

司会 竹吉 泉

(群馬大学大学院臓器病態外科学 教授 日本癌治療学会：がん診療連携委員会/
認定ネットワークナビゲーター制度委員会 委員)

➤ 14:05～14:10

『がん診療ナビゲーターの役割』

西山 正彦

(群馬大学大学院病態腫瘍薬理学 教授 日本癌治療学会 理事長)

➤ 14:10～14:15

『群馬県のがん対策推進事業』

山崎 浩通

(群馬県健康福祉部 がん対策推進室 室長)

➤ 14:15～14:25

『がん診療連携パスの運用と実態』

齋藤 繁

(群馬大学大学院麻酔神経科学 教授 地域医療・患者支援(兼)教授)

➤ 14:25～14:35

『がん診療ナビゲーター認定基準と研修プログラム』

桑野 博行

(群馬大学大学院病態総合外科学 教授)

➤ 14:35～14:45

『群馬研修モデルの特徴と研修申し込み手続きについて』

浅尾 高行

(群馬大学大学院がん治療臨床開発学講座 特任教授)

➤ 休憩

➤ 15:00～15:30

『医師をサポートする専門スタッフの育成トレーニングの効果と実務』

川島 史子

(日本医療コンシェルジュ研究所 特別顧問・シニアコンシェルジュ)



がん医療ネットワークナビゲーター制度

日本のがん医療の発展と進歩を促進し、国民の福祉に貢献することを目的として、一般社団法人日本癌治療学会では、認定がん医療ネットワークナビゲーターの育成を開始することとなりました。

かねてより当学会では、だれもが安心、満足できる理想のがん医療の一層の充実を目指して鋭意努力と検討を重ねてきました。がん患者困窮の3大要因は、医療情報の不足、高額医療費の支払い、精神的な寄り添いの不足に集約されることが指摘されてきました。このため、がん医療情報の提供は、患者・家族に対するがん相談支援としてがん対策の大きな柱の一つに位置付けられています。二次医療圏をカバーするがん診療連携拠点病院では、がん相談支援センターの設置が義務付けられ、その相談員は専門的研修の受講を義務付けられるなど、拠点病院でのがん相談支援事業は充実しています。しかし人員が絶対的に寡少であるなどその活動の展開には脆弱性の懸念があります。当学会では、拠点病院のがん相談支援業務を補完するようながん医療ネットワークナビゲーター（以下：がんナビゲーター）認定制度を検討しました。がんナビゲーターとは、がん情報の提供のみに特化した人材であり、医療実務には係わりません。すなわち、がんに関する正確な情報を的確、適切に患者・家族に伝え、患者・家族の疑問に答えて悩みを解決する手助けのできる在野のがん相談支援員と言えます。がんナビゲーターは必ずしも医療者資格を要せず、ピアサポーターや福祉・介護職などを含め、その地域のがん診療ネットワークに属している者が有資格者であり、当学会の所定の履修により資格が付与されます。

当学会では、関連する様々な組織・学会との連携と協同のもと、今秋から全国3地域（熊本・福岡・群馬）でモデル事業を開始します。なお、最終的な認定がんナビゲーターの人数は、がん治療認定医と同じ2万人を目標としています。

認定がんナビゲーター
プロフィール

Who might be?
薬剤師
看護師
ピアサポーター...

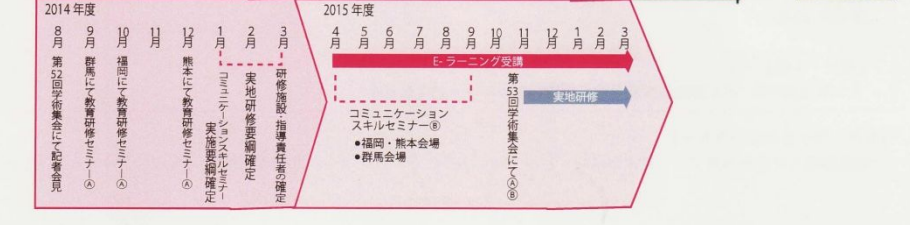
Where to meet?
主に病院の相談室

目的

- がん診療連携機能の強化
- 地域ネットワークを機能させる効率的な情報提供体制の確立
- 地域がん医療情報に精通した「がん医療ネットワークナビゲーター」の養成
- 施設・機関を超えたがん医療ネットワークナビゲーターの地域ネットワーク内配置による情報提供の強化モデル事業の実施
- 満足できるがん医療と社会生活を送るための具体的な情報をすべての患者に確実に伝える仕組みの構築

事業実施予定

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|--|---|--|
| <p>がん医療ネットワークナビゲーター教育プログラムの確定と基盤整備</p> <p>教育プログラムの立案・確定</p> <p>がん診療連携委員会での領域横断的な教育プログラムの立案・確定</p> <p>日本医師会、日本病院薬剤師会、日本看護協会、国立がん研究センターなどからも参画</p> <p>e-ラーニングコンテンツの収録とアップロード</p> <p>研修の開催、実地研修受け入れ態勢の確保</p> <p>日本癌治療学会を主体としたがん診療連携拠点病院等での受け入れ、教育準備、コミュニケーションスキル研修の内容の決定と場所の確保等</p> <p>認定のための実務基盤の整備</p> <p>認定規則の確定</p> <p>認定に関わる実務、事務体制の確立等</p> | <p>がん医療ネットワークナビゲーター養成と認定</p> <p>日本癌治療学会教育試行事業としての養成と認定</p> <p>e-ラーニング コミュニケーション スキル研修 実地研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本医師会、日本病院薬剤師会、日本看護協会、国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部による産学、産研、実習教育の支援 筑波大学学術情報メディアセンターによるe-ラーニングクラウドシステム（委託事業） がん診療連携拠点病院の相談支援センター、地域がん医療ネットワーク構成施設、機関等での実地研修 地域における様々ながん診療情報や在宅医療を含めた医療サービス情報の収集 地域の医療機関や医療サービス、患者支援組織、ピアサポート、在宅やホスピス等も含めたがん医療ネットワーク生活支援サービス等の情報提供 地域連携クリティカルパスの情報の収集、その運用の支援と情報の提供 アクセスも含め、臨床試験の実施状況についての情報の収集、情報の適切な提供 | <p>がん医療ネットワークナビゲーター現場配置によるモデル事業の実施</p> <p>在宅医療連携機関</p> <p>特定領域がん診療拠点病院</p> <p>患者支援組織ピアサポーター</p> <p>がん医療ネットワーク</p> <p>がん診療連携拠点病院 相談支援センター 地域がん診療拠点病院</p> <p>がん年齢調整死亡率の異なる熊本、群馬、福岡3地域でのモデル事業</p> <p>日本癌治療学会、日本医師会、日本病院薬剤師会、日本看護協会による実施支援</p> <p>効果、発展性、課題の検証</p> <p>展開継続の可否決定</p> |
| | | <p>「がん医療ネットワークナビゲーター」による情報提供体制の強化</p> <p>人材養成の継続 医療情報提供体制の確立</p> <p>がん患者の診療と社会生活に関する様々な情報を確実にすべての患者に伝える仕組みの確立</p> <p>がん好発種別基本計画の推進 全体目標の達成</p> <p>分野別施策と個別目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域完結型の医療・介護サービスを提供できる体制の確立及び必要人材の育成 がんに関する相談支援と情報提供 <p>全体目標</p> <p>すべてのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上</p> |



【2014年開催教育セミナー】

- 群馬 ● 日時：平成26年9月13日（土）14:00～16:00 場所：群馬大学医学部（昭和キャンパス）刃城会館
1. 「がん診療ナビゲーターの役割」 西山 正彦（群馬大学大学院病態腫瘍薬理学）
 2. 「群馬県のがん対策推進事業」 山崎 浩通（群馬県健康福祉部 がん対策推進室 室長）
 3. 「がん診療連携バスの運用と実態」 齋藤 繁（群馬大学大学院麻酔神経科学）
 4. 「がん診療ナビゲーター認定基準と研修プログラム」 桑野 博行（群馬大学大学院医学系研究科病態総合外科学）
 5. 「群馬研修モデルの特徴と研修申し込み手続きについて」 浅尾 高行（群馬大学大学院医学系研究科がん治療臨床開発学）
 6. 「医師をサポートする専門スタッフの育成トレーニングの効果と実務」 川島 史子（日本医療コンシェルジュ研究所 特別顧問・シニアコンシェルジュ）
- 福岡 ● 日時：平成26年10月26日（日）13:00～16:00 場所：福岡国際会議場
1. 「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」 西山 正彦（群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学）
 2. 「ナビゲーターに必要な知識①（基礎編）：EBMと臨床試験」 調 憲（九州大学大学院消化器・総合外科学）
 3. 「ナビゲーターに必要な知識②（基礎編）：患者リテラシーと情報収集法」 佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）
 4. 「ナビゲーターに必要な知識③（応用編）：がん相談支援の実際」 竹山 由子（九州がんセンター）
 5. 「デモンストレーション」 北嶋 晴彦（大牟田市立病院）、織田 久美子（社会保険 田川病院）
 6. 「パネルディスカッション」
- 熊本 ● 日時：平成26年12月7日（日）9:00～12:00 場所：くまもと県民交流会館バレー
1. 「がん医療ネットワークナビゲーター制度とは」 片淵 秀隆（熊本大学大学院生命科学系研究科産科婦人科学分野）
 2. 「EBMと臨床試験」 吉田 稔（日本赤十字社熊本赤十字病院腫瘍内科）
 3. 「リテラシーとインターネット情報」 佐々木 治一郎（北里大学医学部新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門）
 4. 「がん相談支援において必要な知識とスキル」 稗田 君子（熊本大学医学部附属病院がん相談室）
 5. 「デモンストレーション」 堀田 めぐみ（がんサロネットネットワーク熊本）、里山 弘子（熊本県私のカルテがん診療センター）

「がん医療ネットワークナビゲーター制度」とは？

【定義】

がん医療を受けるために必要な医療関連情報、生活支援情報等に関する適切な助言・提案・支援を行うに十分な知識と素養を習得した者である。ただし、医療介入に関してはこれを禁ずる。

【業務規定】

- (1) 地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集する。
- (2) がん患者・家族等の求めに応じ、がん診療情報や医療サービス情報を適切に提供する。
- (3) 地域連携クリティカルパスの運用支援を行う。
- (4) 臨床試験・治験に関する情報を適切に提供する。
- (5) 医療介入またはこれに相当する可能性のある行為は行わない。

【申請資格】

申請時前3年の間に(1)～(4)をすべて満たしていること；

- (1) 指定されたeラーニングシステムにおいて30科目を聴講し、すべての小テストを受験し合格し、修了証を取得していること。
- (2) ①、②、③のうちいずれか1つに参加し受講証を取得していること。
 - ① Aセッション：教育研修セミナー、Bセッション：コミュニケーションスキルセミナー
 - ② がん相談支援センター相談員基礎研修または「がん総合相談研修プログラムがんサロ編「より良いグループ・サポートを進めるために」を用いて開催される研修会
 - ③ その他、日本癌治療学会が認めるセミナー、研修会など
- (3) 日本癌治療学会の定める研修施設において実施研修をし、指導責任者による証明がなされていること。
- (4) 申請時にがん医療に関わる地域医療ネットワークに参加している施設・組織に所属していること。

【費用】

eラーニング受講認定証発行 10,000円
セミナー受講料 8,000円～10,000円
審査申請料 5,000円
認定料 10,000円

【運営・主催】

日本癌治療学会 がん診療連携委員会、認定ナビゲーター制度委員会

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人日本癌治療学会 東京事務所・花田 Tel：03-5542-0546 Fax：03-5542-0547 e-mail：navi@jSCO.or.jp

今までとは違う形で医療に携わりたい!

がん医療に関わる仕事をしたい!

厚生労働科学研究(がん政策研究)推進事業
がん医療従事者向け研修会

がん医療ネットワークナビゲーター: 育成制度と資格認定

平成26年度厚生労働科学研究費補助金(がん政策研究事業)
がん医療ネットワークナビゲーターによるがん医療情報提供強化プロジェクト:
情報が確実に手元に届く地域連携モデルの構築(H26-がん政策-一般-007)

- ◆ 日程: 平成26年9月13日(土)
- ◆ 時間: 14:00~16:00
- ◆ 会場: 群馬大学医学部 刃城会館
- ◆ 主催: 群馬大学大学院 病態腫瘍薬理学
群馬大学大学院 病態総合外科学

公益財団法人 日本対がん協会 がん対策推進総合研究推進事業

がん診療連携において、主治医と患者の間に立って円滑かつ確実なサポートを行うために必要な知識を学び、同時に即戦力となるようなスキルを磨きます。
まずはこの説明会に参加をし、日本の未来医療を担う新しい仕事について知ってください。
今まで医療の仕事に携わったことがない方でも大丈夫。年齢性別も問いません。
たくさんの方のご参加をお待ちしております。

◆【連絡先】群馬大学 がん治療臨床開発学講座 【担当】松井 由佳 ◆

【TEL】027-220-8224 【FAX】027-220-8230 【e-mail】yukamats@gunma-u.ac.jp